わたしのまちの健康プロフィール

作成日：令和8年10月　作成：大分県東部保健所

1 管内の概要



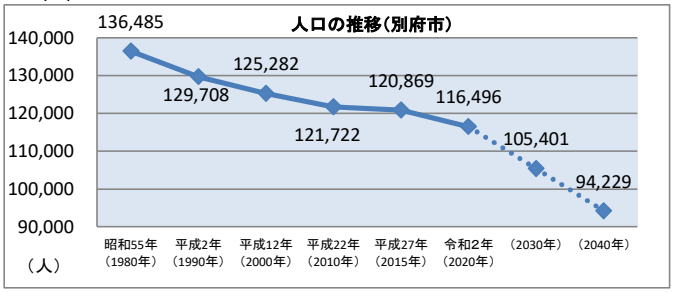
日出地域福祉室管内：別府市、杵築市、日出町、国東市、姫島村

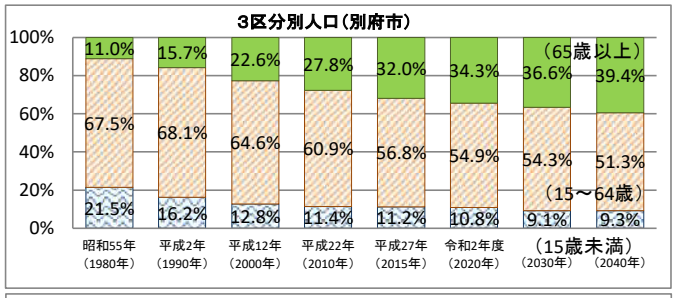
	総人口	世帯数	高齢化率(%)
大分県	1,074,257	500,112	34.6
別府市	111,388	55,737	35.1
杵築市	25,420	11,774	40.6
日出町	27,005	11,536	31.8
国東市	23,650	11,689	45.2
姫島村	1,468	787	61.6
管内計	188,931	91,523	36.9%

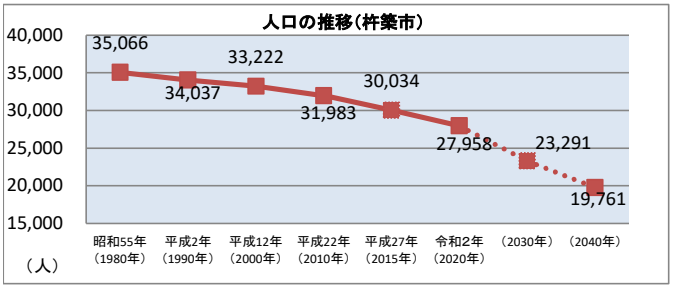
資料：大分県統計調査課「大分県の人口推計報告」
（令和7年10月1日現在）

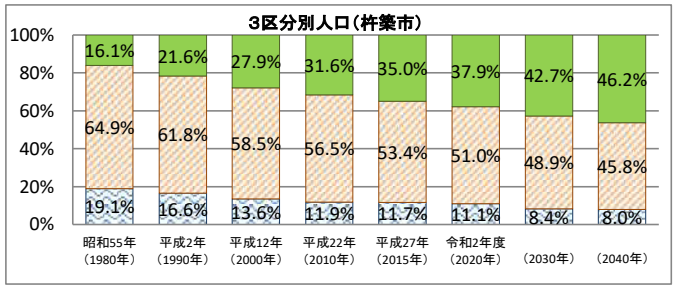
■東部保健所
〒874-0840
別府市大字鶴見字下田井14-1
（別府総合庁舎内）
電話：0977-67-2511　／FAX　：0977-67-2512
■地域福祉室
〒879-1506
日出町字仁王山3531-24（日出総合庁舎内）
電話：0977-72-2327　／FAX　：0977-72-2367
■国東保健部
〒873-0504
国東市国東町安国寺786-1（国東総合庁舎内）
電話：0978-72-1127／FAX　：0978-72-3073

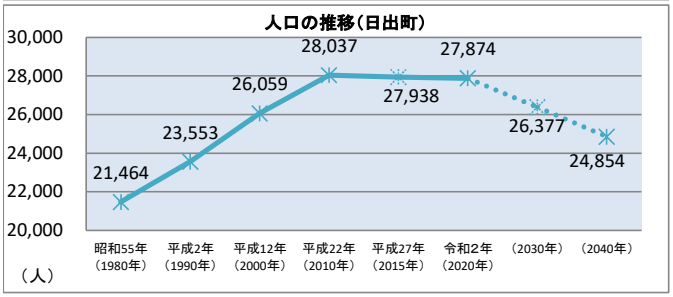
2 人口

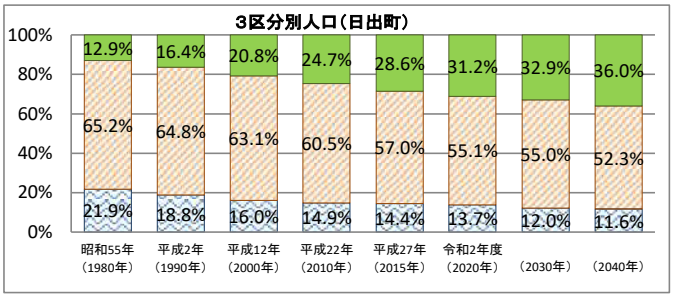


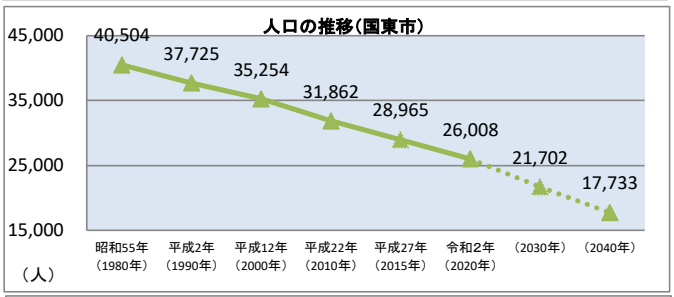


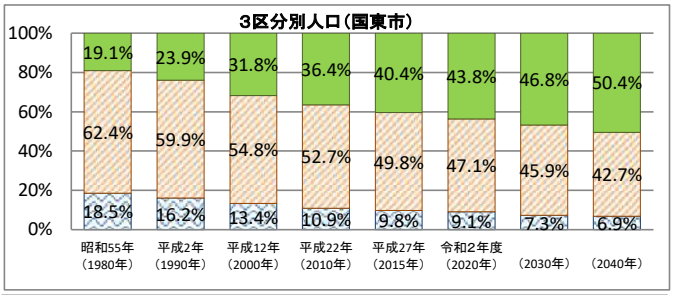


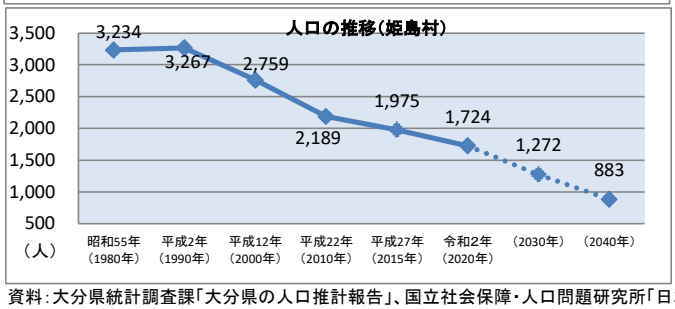


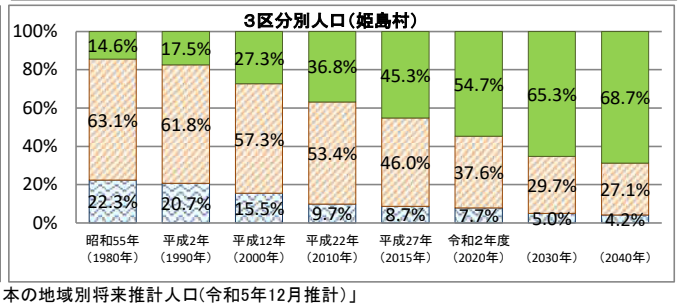










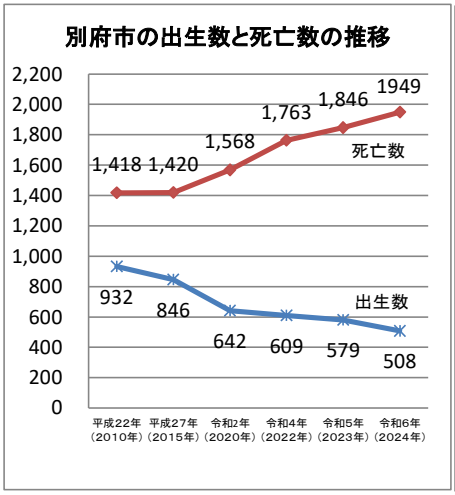


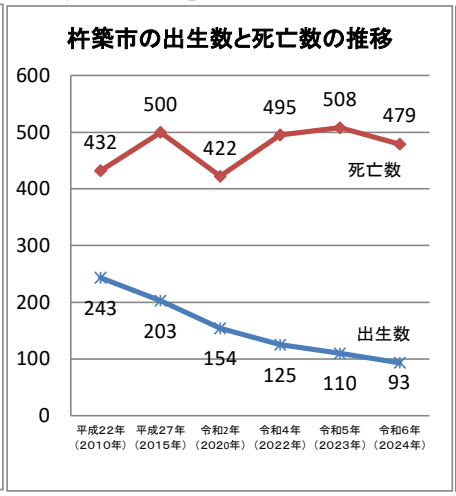
資料：大分県統計調査課「大分県の人口推計報告」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年12月推計）」

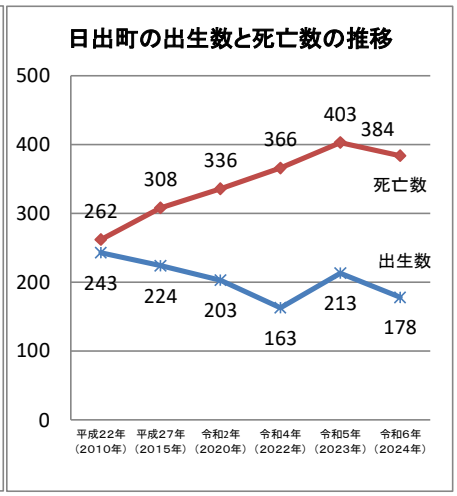
3 人口動態
(1)令和6年 人口動態統計

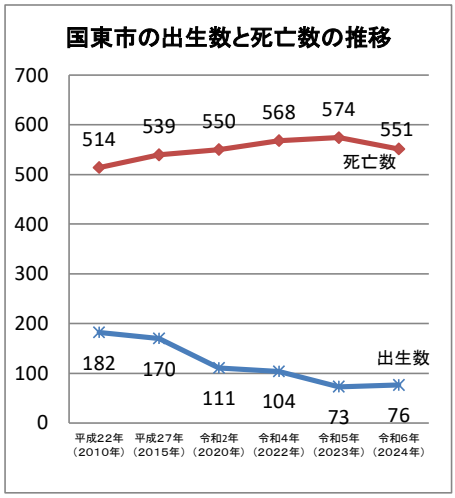
	出生			合計特殊出生率	死亡	
	実数	率 [人口千対]	(再掲) 2,500g未満の児		実数	率 [人口千対]
大分県	5,957	5.6	515	1.40	16,789	15.7
別府市	508	4.7	50	1.17	1,949	18.1
杵築市	93	3.6	9	1.22	479	18.8
日出町	178	6.6	9	1.48	384	14.2
国東市	76	3.2	4	1.20	551	23.1
姫島村	1	0.7	0	2.56	39	25.9

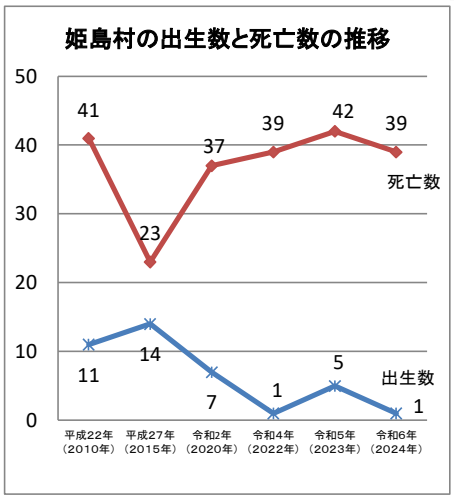
資料:大分県福祉保健企画課「令和6年人口動態総覧・市町村別」、合計特殊出生率は大分県福祉保健企画課調べ(R2年～R6の平均)









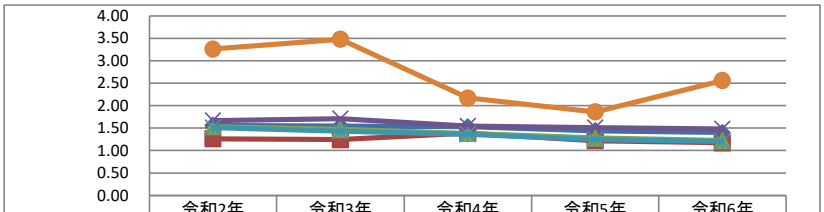


大分県では人口千人あたりの出生率は5.6でした。**出生率は、日出町が大分県を上回っており、その他市村では県平均を下回っています。**

出生数と死亡数の推移を見ると、いずれの市町村も死亡数が出生数を上回っており、人口の自然減の状況が続いています。



(2)出生の状況(合計特殊出生率)



	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
大分県	1.56	1.55	1.53	1.44	1.40
別府市	1.26	1.24	1.39	1.22	1.17
杵築市	1.53	1.47	1.38	1.28	1.22
日出町	1.67	1.71	1.55	1.51	1.48
国東市	1.51	1.43	1.36	1.25	1.20
姫島村	3.26	3.48	2.17	1.86	2.56

(グラフを見るときの留意点)
市町村の合計特殊出生率は、出生数の少なさに起因する偶然性の影響のため、数値が不安定となる問題があります。
そこで、5年間(R2～R6)平均として算出することにより、地域間の比較が可能な指標としています。

資料:大分県福祉保健企画課調べ

合計特殊出生率とは、15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年時の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの平均の子ども数です。現在の人口を維持するには、2.07以上の数値を保つことが必要とされます。

※合計特殊出生率は、出産年齢の変化によって推計値が短期的に変わることがあります。
例えば、女性が生涯に生む子どもの数が変わっていない状況で、晩婚化が進み、出産年齢が高く変化している場合、合計特殊出生率が一次的に過少に推計される場合があります。

（3）死亡の状況

◆令和6年 主要死因別死亡率（人口10万対）

	大分県	管内	別府市	杵築市	日出町	国東市	姫島村
総数	1,575.0	1,832.5	1,807.3	1,877.8	1,422.5	2,314.7	2,593.1
悪性新生物	348.8	408.3	413.6	466.5	318.6	428.5	332.4
糖尿病	15.2	15.6	14.8	23.5	7.4	21.0	0.0
高血圧性疾患	8.5	11.3	2.8	7.8	33.3	25.2	66.5
心疾患	206.4	230.0	203.1	235.2	214.9	352.9	398.9
脳血管疾患	105.3	129.8	129.8	117.6	129.7	138.6	199.5
肺炎	78.1	98.0	91.8	101.9	55.6	172.2	66.5
慢性閉塞性肺疾患	19.1	20.5	18.5	35.3	14.8	21.0	0.0
喘息	1.0	1.6	0.9	3.9	3.7	0.0	0.0
肝疾患	17.4	27.5	27.8	43.1	7.4	33.6	0.0
腎不全	34.7	50.1	51.0	62.7	40.7	46.2	0.0
老衰	198.5	209.0	202.2	215.6	133.4	289.9	664.9
不慮の事故	51.6	59.3	64.0	47.0	33.3	79.8	66.5
自殺	16.1	15.6	13.9	11.8	22.2	21.0	0.0

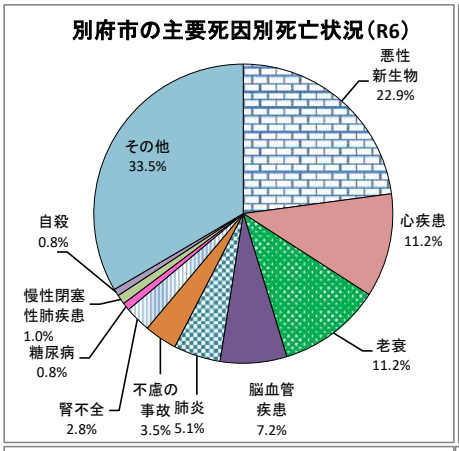
資料:厚生労働省「人口動態統計」

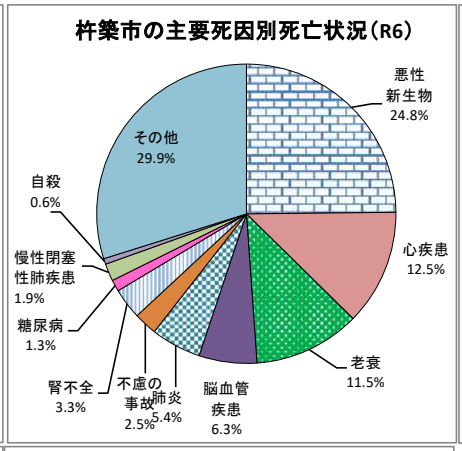
＜人口10万対死亡率　上位5疾患＞

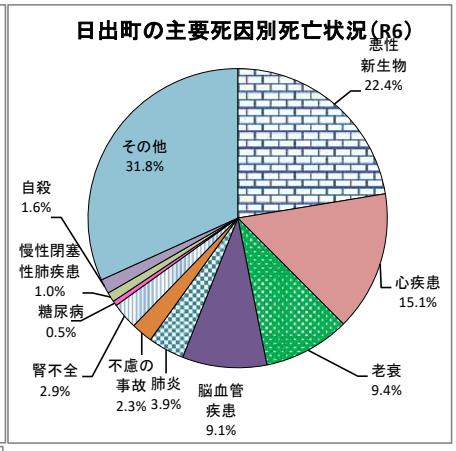
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
大分県	悪性新生物	心疾患	老衰	脳血管疾患	肺炎
別府市	悪性新生物	心疾患	老衰	脳血管疾患	肺炎
杵築市	悪性新生物	心疾患	老衰	脳血管疾患	肺炎
日出町	悪性新生物	心疾患	老衰	脳血管疾患	肺炎
国東市	悪性新生物	心疾患	老衰	肺炎	脳血管疾患
姫島村	老衰	心疾患	悪性新生物	脳血管疾患	肺炎等

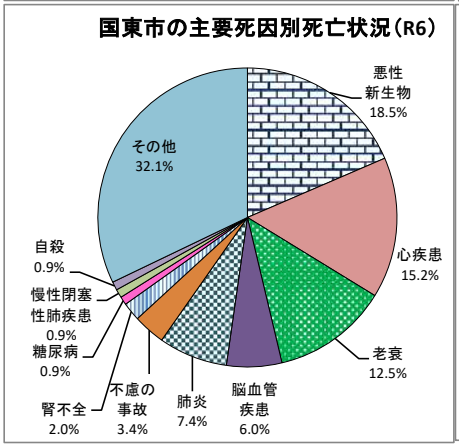
主要死因別死亡率（人口１０万対）は、姫島村を除く４市町で悪性新生物が１位となっています。
令和６年は、管内の全死亡者のおよそ５人に１人（２２．３%）は悪性新生物＜腫瘍＞で死亡しています。

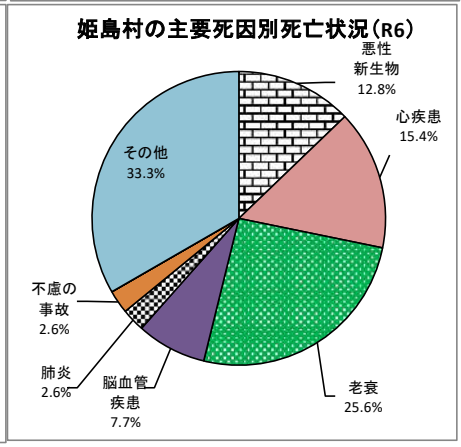
〈管内市町村の主要死因別死亡状況〉







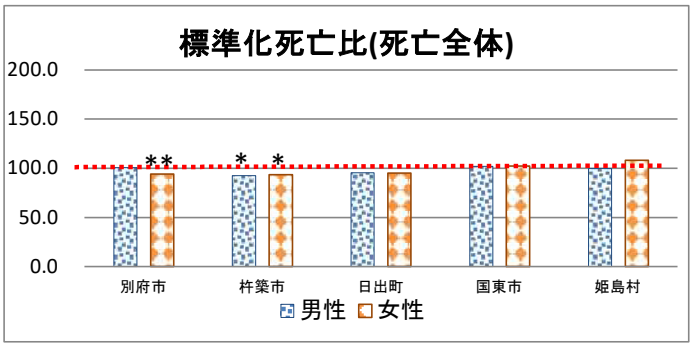


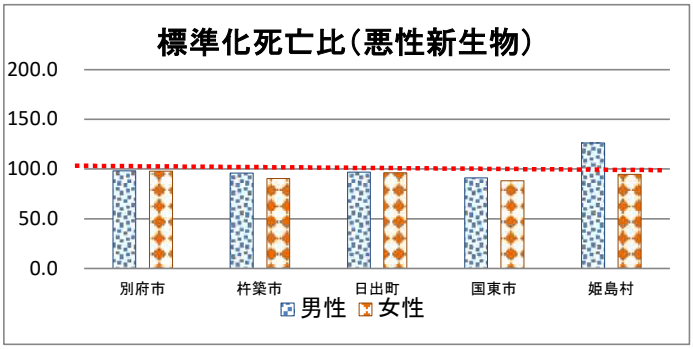


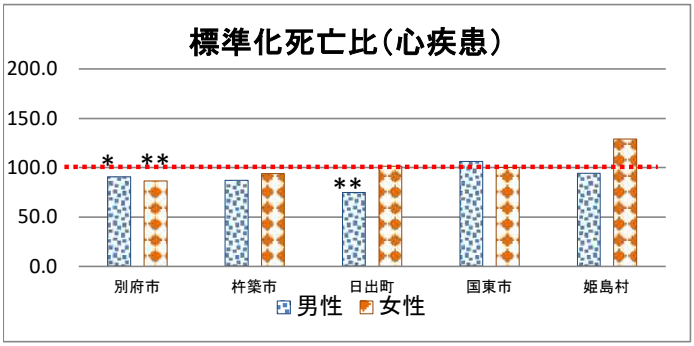
◆標準化死亡比（SMR）（令和2年～令和6年の平均）

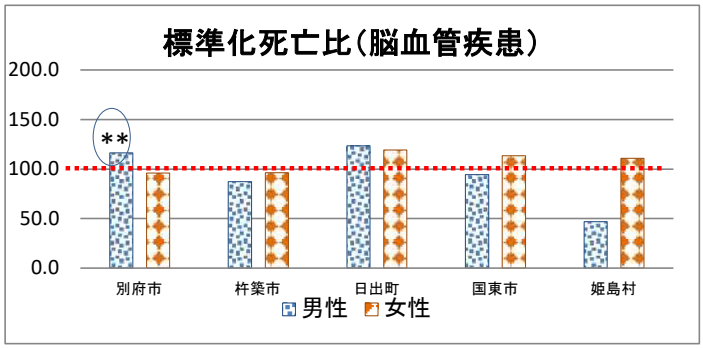
人口規模や年齢構成の差を調整した死亡状況の指標です。主に小地域の比較に用いられ、**全国を100（基準値）として、100より高い値はその地域の死亡状況は全国より悪く、100より低い値は全国より良いということを意味します。**
但し、人口規模の小さい地域においては、わずかな死亡数の増減により大きく変動するためデータが不安定になります。

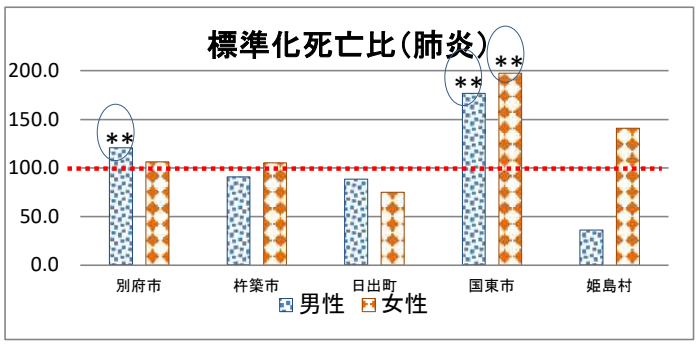
注）＊は5%の危険率、＊＊は1％の危険率で有意に期待死亡率と差がある。











資料：大分県健康指標計算システムで集計（R2～R6年の平均）

**有意差のある項目（P＜0．01）
（有意に高い項目）
別府市…（男性）脳血管疾患、肺炎
国東市…（男性）肺炎
（女性）肺炎



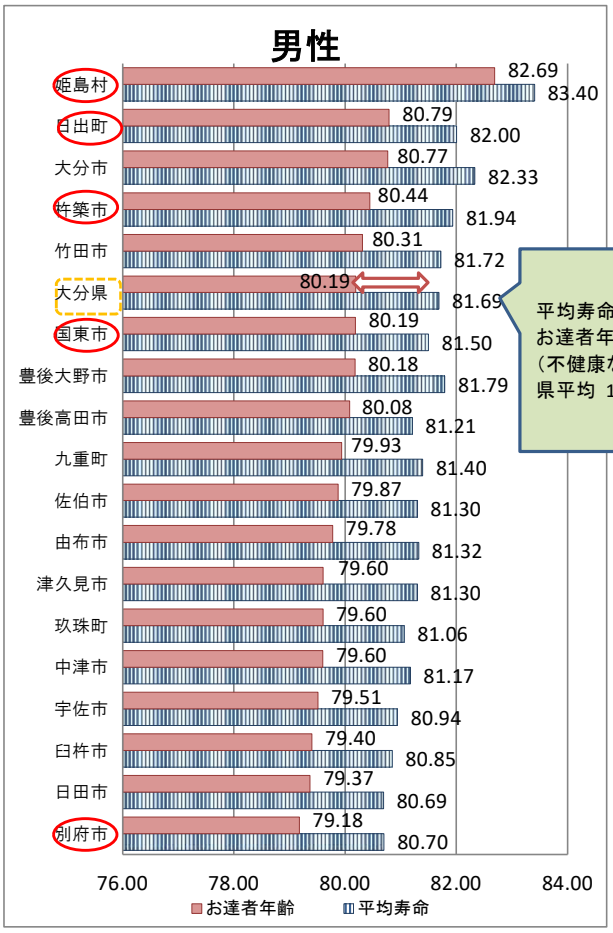
4 平均寿命・お達者年齢　（令和2年～令和6年の平均）

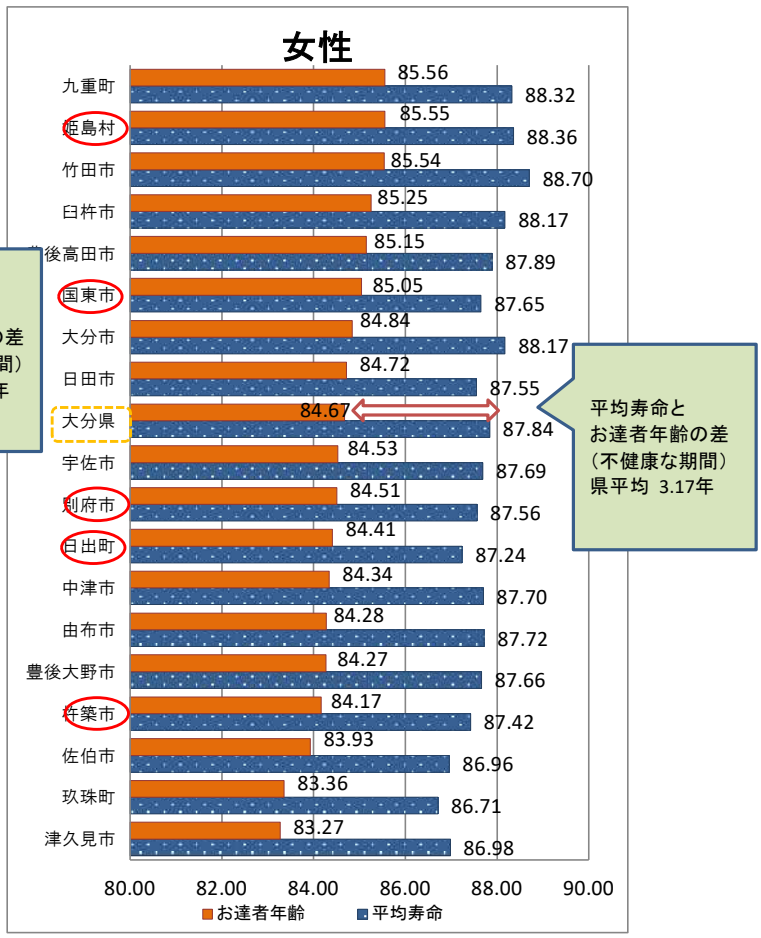
「平均寿命」
0歳の子どもが何年生きられるかを示すものであり、都道府県の数値は国が5年毎に公表しています。
市町村の平均寿命も5年毎に国が算出していますが、大分県では独自に算出し、毎年公表しています。

「健康寿命」
健康で過ごせる期間を示したものです。
国が算出する「健康寿命」は、国民生活基礎調査の結果をもとに、「日常生活に制限のない期間」を算出したもので、
全国値と都道府県の値が3年に1回公表されます。

「お達者年齢」
大分県内で市町村比較ができるよう、大分県で独自に算出している指標で、介護保険の要介護1までを健康、
要介護2以上を不健康として算出します。
平均寿命とお達者年齢の差は、健康でない期間を意味するので、この期間をなるべく短くすることが必要です。
なお、市町村では人口規模が小さく、国と同様の調査による「健康寿命」の算出は困難なため、類する指標として 「お達者年齢」を
大分県が毎年公表しています。

＜お達者年齢ランキング＞





◇**お達者年齢ランキング**では、県内の**男性1位　姫島村（82.69歳）、男性2位　日出町（80.79歳）、女性2位　姫島村（85.55歳）**でした。

◇男性では**平均寿命とお達者年齢の差（健康でない期間）**をみると、**県平均が1.50年でした。平均寿命とお達者年齢の差が、県平均よりも短かったのは姫島村（0.71年）、日出町（1.21年）、国東市（1.31年）でした。**

◇女性では**平均寿命とお達者年齢の差（健康でない期間）**をみると、**県平均が3.17年でした。平均寿命とお達者年齢の差が、県平均よりも短かったのは姫島村（2.81年）、国東市（2.60年）、別府市（3.05年）、日出町（2.83年）でした。**

◇健康で過ごせる期間を長くするためには、若い頃からの健康的な生活習慣や高齢者の介護予防が大切です。

※大分県では、生活習慣病の予防及び社会生活を営むための必要な機能の維持、向上、健やかな暮らしを支える良好な社会環境の構築等により、健康寿命を延伸することを目指しています。

資料：大分県福祉保健企画課「平均寿命と健康寿命について」